

Weekly Report

東京お茶の水ロータリークラブ



2024-25年度RI会長 ステファニー A. アーチック

ロータリーのマジック

第2580地区ガバナー 石川 彌八郎

隔たりを取り除き、“ご縁”を大切に

ロータリー活動を
最大限に楽しもう!

2024-25年度 クラブ会長 海江田 健司

本日の卓話 ガバナー公式訪問卓話 第 2580 地区ガバナー 石川 彌八郎様

司会進行
点鐘
君が代・奉仕の理想
ゲスト・ビジター紹介
ニコニコボックス報告
会長報告
幹事報告
出席報告

神保 宏充会員
海江田健司会長
佐々木啓策会員
土居 岩生会員
神保 宏充会員
海江田健司会長
中野 広行幹事
神保 宏充会員

山田会員 卓話楽しみにしています。よろしくお
願い致します。
山下会員 山本様お久しぶりです。前回に引き続
き今回も楽しみにしております。
計 38,000 円 累計 173,000 円

ゲスト・ビジター

ゲストスピーカー
ゲストスピーカー同行者
パストガバナー・東京東江戸川 RC
MLT こどもプロジェクト
元会員
岡田会員同行者

山本信太郎様
安部 昌臣様
嶋村 文男様
福島 道子様
傳 健興様
岡田 花林様

誕生日祝い

7 月 22 日 相倉 辰徳会員
8 月 1 日 永井 一史会員
8 月 1 日 高山 肇会員
8 月 1 日 神保 宏充会員



ニコニコボックス

嶋村文男様 こんにちは。久しぶりのメーキャップ
です。宜しくお願いします。
傳 健興様 大変お世話になりました。
海江田会長 山本様、本日の卓話楽しみにしており
ます。
中野幹事 山本信太郎様、卓話楽しみにしてあり
ます。ありがとうございます。
張 会員 今年の夏は特別に熱い。世界平和を切
に願います。
土居会員 嶋村パストガバナーお暑い中おいで下
さいました。山本さん卓話楽しみです。
神保会員 山本様、本日の卓話どうぞよろしくお
願い申し上げます。
松島会員 山本先生のお話し楽しみに期待してい
ます。
永井会員 山本様の卓話楽しみにしております。
大原会員 山本様、卓話楽しみにしてます。
岡田会員 7 月は一度も出席できませんでした。8
月からはがんばります。よろしくお願
いします。

挨拶 パストガバナー 嶋村 文男様

先日インターアクト年次大会があり、100 名近い生徒
(沖縄から 15 名程)が集まりました。難民問題から世
界を見て、何が行動できるかというセッションを行い、
高校生中学生が大変勉強になったと喜んでおりました。
ディスカッションする大切さを、それぞれが感じてよ
い 1 日になったと思います。
海江田会長と中野幹事には色々とお世話になり、本日
メーキャップで清々しい 2 人を拝見し大変嬉しく思っ
ております。2 週間後に石川ガバナー公式訪問というこ
とですので、素晴らしい東京お茶の水 RC を見せていた
だければと思っています。

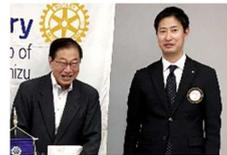
挨拶 MLT こどもプロジェクト代表 福島 道子様

私ども MLT こどもプロジェクトとは、
神田三崎町の三崎町ふれあいサロンで週
1 回木曜夕方 17:30~20:00 まで、子供の
居場所づくりという事で活動してあり
ます。ロータリー様には大変お世話になり、
食材等たくさんご支援賜っております。
夏休みも毎週活動しています。お時間ありましたらお
声がけいただければいつでも見学できますので、ぜひ
いらしてください。今後ともよろしくお願いいたしま
す。



挨拶 傳 健興様

今年で喜寿を迎えるにあたり、
もともと喜寿~80 歳にかけて、今
まで活動させていただいていた事
柄を見直して、また違うスタートを切ろうと思ってい
ました。私がやっていた神保町の咸亨酒店を今回閉じ
たのですが、ご縁があって常陸太田のほうに誘致のお
誘いがあり 7/1 に無事開業しました。米菱醤油という
200 年続く老舗の醤油屋があり、そこの再生を手伝うの
と同時に地域の再生を手伝ってほしいとのことで、第 2
の人生として力になればと、向こうにしばらく関わ
ってみようと思っています。大変長い間お世話になっ
たので、また顔を出させて頂ければと思います。これ
からもよろしくお願い致します。



会長報告 海江田 健司会長

- ・前年度 6/30 付で退会されました、チャーターメンバーである傳 健興さんに本日お越しいただきました。長きに渡りクラブにご尽力いただいた感謝をお伝えしたく、記念品をお渡しします。
- ・創立 30 周年記念誌が出来ました。本日皆様にお配りしております。

幹事報告 中野 広行幹事

- ・8 月度理事役員会を開催いたしました。
- ・9 月 11 日、オープン例会です。本日も案内を配布しました。ご友人、ロータリーに興味のある方をお誘いください。
- ・8 月 28 日、納涼家族親睦会のご案内を配布しました。8 月 21 日までに出欠を事務局までお知らせください。
- ・次週 14 日は休会です。次回は再来週 21 日で、ガバナ公式訪問日になります。クラブ協議会ご出席の方は、10:50 までにご着席いただきますよう、よろしくお祈りします。
- ・ロータリー希望の風奨学金へのご協力、ありがとうございました。

出席報告

会員数	36 名	ゲスト	5 名
出席	21 名	ビジター	1 名
ZOOM	2 名	合計	29 名

今後の予定

- 8/28 (水) 納涼家族親睦会 (於)赤坂浅田 12:00~
9/4 (水) (於)東京ドームホテル
鉄道風景画家 松本 忠様
9/11 (水) (於)東京ドームホテル
オープン例会
一般社団法人障がい者自立推進機構
代表理事 松永 昭弘様
「アートで障がい者の夢を叶える世界を作る パラリンアート活動について」

山本信太郎が語る 「ニューラテンクォーター」 の光と影 元ニューラテンクォーターオーナー 山本 信太郎様

福岡生まれ、昭和 33 年に東京へ来ました。「東京へ行くなら日本一になって帰ってこい」と、父がたった一言、僕を激励して東京へ送り出したのを覚えております。

昭和 33~34 年当時、東京へ行くことが唯一の憧れでした。アメリカ進駐軍から福岡に 2 軒のアメリカ人専用のキャバレーを作るということが許され、父が九州でキャバレーを始めました。私は小学生でしたので見に行きたくても許されず、小学 6 年生の時にちらっと見に行ったことがありました。大学も東京へ行きたかったのですが福岡へ向け、と言われ、福岡大学をぎりぎり出ました。昭和 33 年に東京に来て、34 年 12 月に赤坂の地にニューラテンクォーターをオープンしました。

元々ラテンクォーターというクラブがあったそうですが私がオープンする前に火事で焼けてしまいました。ロッキード事件でいろいろ話題になっている児玉誉士夫氏がそのラテンクォーターに関係されていて、旧ラテンクォーターで生計を立てていた人達が生活していけないと児玉先生のところへ押し掛けたいです。児玉先生もラテンクォーターを作らなければいけない、誰がいいだろうかということで父を指名したのですが自身では行かず私に「行ってこい」と言い、それがきっかけで、24 歳で東京へ来ました。

昭和 34 年、ある日児玉先生に呼ばれて、藤山愛一郎氏がホテルニュージャパンというのを作るらしい、ホテルの横にキャバレーのネオンが映ってはいけいから地下へ潜るよにと指示を受けました。急遽ホテルの脇に地下を掘り、作って出来上がったのが「ニューラテンクォーター」です。怪我の功名ではないですが地下へ潜ったことで、赤い階段をずっと地下へ降りていく何ともいえない雰囲気、非常にお客様喜ばれました。

「日本一になれ」という父の言葉が耳に残っていて日本一になるにはどうしたらいいのだろうと思案していました。ラテンクォーターの場合、箱が大きくテーブルは 80 席程度ですが約 390 坪ありますので、どういってお店作りをすればいいんだろうかと思っているときに、キョードー東京の創始者である永島達司氏が声をかけてくれました。日本一のクラブを作りたいが思案していることを伝えると、将校クラブへいろんな SHOW を外人慰問のために呼んでいるので 1 回見てみませんか誘っていただき、一緒に将校クラブへ行き、外人

の SHOW を見たことが、クラブ作りのきっかけとなりました。ラテンクォーターがオープンするとき、ベサメ・ムーチョが流行している時で、ベサメ・ムーチョを歌っているトリオ・ロス・パンチョスを、ラテンクォーターの柿落としと呼びました。12月



10日がレセプションで、11日が一般営業でしたが、トリオ・ロス・パンチョスが来て、初めて生を見る機会にお客様が喜んでくださり、それがきっかけとなりラテンクォーターに SHOW が外せなくなりました。次々にいろんなタレント、外国のタレントを呼ぶ機会を得ましたが、キョードー東京も同時に一緒に大きくなっていきました。学生時代音楽が好きで、テネシーワルツという人が歌っているのだろうと、その歌っているパティ・ページが実際に来て、ラテンクォーター入ってきたときはとても嬉しく、あの感激は忘れられません。ラテンクォーターが閉店するまでの30年間、SHOWを1日もかかすことなくやってこられたことが、ニューラテンクォーターがレジェンドとなり、今でも皆さんにあの SHOW はよかったねって言っていただけております。やってきてよかったと思っています。

当時のお客様は、昭和33~34年はオリンピック前で商社の三菱商事、三井物産、伊藤忠、日商岩井、各商社の外国のお客様の招待で毎晩賑わっていました。今も大事にしているのが、松本清張氏が「人の出会いと触れ合いを特に大事にしてください」と言われたことがずっと今も残っています。人と出会うことを大事にして人と触れ合うことの難しさということも身を持って感じています。経済界でお見えにならなかったのは、松下幸之助氏だけで、当時の有名な経済界、財界、総理の方々もお見えになりました。一番回数が多いのは中曽根氏でした。福田武夫氏は、几帳面な方でした。店の住所は永田町で、麹町管内、永田町管内では、風俗営業のお店はラテンクォーターだけしかないのだから間違えたらだめだよ、といつも麹町署の署長に呼ばれていました。歴代麹町署長とも大変親しくしていただけていました。

そのあと、ホテルニュージャパンが火事になり、火事の後も何年かやりましたが雰囲気が出ず、1989年にニューラテンクォーター30年で辞めました。立退料が入り福岡へ帰ってのんびりしようと思っていたのですが、従業員が働きたいと言っているということで、赤坂9丁目のニューpentハウスを開き、15年間65歳までやりました。pentハウスも終わり、次何しようかと思っているときに、私の友人がやっているキックボクシングを見に行き、なかなか面白く、女子でもできるのではないかと思い、女子格闘技のキックボクシングの会を作りました。キックボクシングの方も5年間楽しくやらせてもらいました。キックボクシングもやめて、何しようかなと思っているときに、当時お世話になっていた廣濟堂の桜井会長から、ラテンクォーターの本を書くように勧められ、「東京アンダーナイト」という本を70歳の時に出版しました。お蔭様で88歳

になりますが、この年まで退屈することなく次から次にそういうお話がきて、いろんな方とお会いすることができて、ほんとに元気にしております。

これも、松本清張先生の言葉の、人の出会いと触れ合いが、今日までそういう気持ち、体力はもちろんですけど気持ちが落ちないというか、衰えないというか、いつもそういう気持ちで人と接することができるということが今日のこの場にも繋がっていると思って、感謝しながらこうして立たしてもらっていただいております。

昭和34年東京オリンピックの前、本当に大変でした。公安委員会に呼ばれ、外国のお客様が来た時にどういうメニューで、どういう料理を、どういう商売をするのかということで、メニューのチェックから、見本をラテンクォーターでやってくださいと、あの当時公安委員に何回も行ってチェックを受けました。外国のお客様には、お客様のオーダーしたものだけしか出さないようにしてくれ、と、全部伝票も別々で、飲み物、女の子の伝票、食べ物も全部伝票でお客様が理解できるようにしなさいと。東京オリンピックの頃は、そういう細かい神経を使って商売をしたな、と今でもオリンピックをやっていると、それを思い出します。あのころ結構神経質に商売やっていたなと思いながら、今もオリンピックで毎日楽しみながらオリンピックを見ています。

今日こうやって皆さんとお会いできてこういうお話をさせていただくこと大変嬉しく思っております。本日はありがとうございました。

